

工房だより

～ ペットのための自然食キッチンから～

春爛漫！そよ風に
誘われ…ワンワン！



飼い主様からのコメント
ルキはお花を見るのが大好き♡
お花を見るとまるでお花の妖精さんとお話してるみたい
に、にっこり笑顔を見せてくれるルキ。
これからもずっと一緒に季節を感じていこうね。
素敵なコメントありがとうございます。いっぱいの愛情
包まれているルキちゃん。穏やかな表情にスタッフもほっ
こりさせていただきました。



今月の一枚

ルキちゃん 十四才 (撮影時)
チワワ



Say cheese!

ワンちゃんのお写真募集中！
メールにて一言添えてお送り
ください。採用された場合に
は心ばかりのお礼をお送りし
ます。

info@petfood-kitchen.co.jp

インスタグラムにて

ご褒美をもらっている動画大募集

ワンちゃんが○○○をしてご褒美を
もらっている動画を募集いたします。

抽選で五頭を選出し、社内投票でベス
トワンを選びます。ベストワンに選ばれ
たワンちゃんは、工房だより7月号の表
紙に掲載させていただきます。詳細は、
サイトのお知らせやインスタグラムにて
ご確認ください。

ご応募をお待ちいたしております。

募集期間

四月一日(金)～五月七日(日)

賞品 豪華国産無添加おやつ詰め合わせ

Instagramにて耳寄り情報を毎日配信
しております。

※日曜祝日以外

Instagramは
こちらから



できたて定期便のお届け日や

頻度の変更方法について

2月号でもご案内させていただきました
が、お問い合わせフォームより、お届け日
や頻度(周期)の変更を承れるようになり
日曜祝日でも、ご変更内容に問題がなけれ
ば承ることが出来るようになりました。

また、以前よりご要望いただいております
た、周期変更とお届け日の連携も可能となり
ました。周期をご変更頂きますと、自動的に
次回のお届け日に反映されます。

お問い合わせフォーム入力方法

お問い合わせ項目を「お届け日を変更した
い/お届け頻度を変更したい」のどちらかを
ご選択いただき、フォームにそって、ご希望
の内容をご入力ください。

なお、マイアカウントから、ご変更頂いた
場合は、周期変更とお届け日が連動していな
いため、各々ご変更頂く必要がありますので
予めご了承ください。

※変更手続きが完了した際にお送りするメー
ルは**必ず変更内容をご確認ください**ますよう
お願い申し上げます。

ご不明な点などございましたら、お客様窓
口までお問い合わせ下さい。

※マイアカウントにログインしてからトップメ
ニューのお問い合わせをご選択いただくと登録情
報が自動で入力されますので便利です。

★毎月抽選で三十名に次回のお買い物から使え
る五百ポイントが当たる、商品レビューは、
QRコードから投稿ください。

※非会員の方へのポイント付与は
システム上おこなえず、お手数
ですが会員登録をお願いします。



ご不明な点などがございましたら
お客様窓口 0120-634-436
十時から十七時半(日祝お休み)
商品レビュー
こちらから

犬と猫 必要な栄養の違いについて

今月は犬と猫の栄養の違いについてお話させていただきます。

お客様窓口に「一緒に飼っている猫ちゃんにもドッグフード工房のご飯を与えても大丈夫ですか？」とお問い合わせをいただくことがあります。

このような場合には、「原材料はすべて人間の食材を厳選した天然素材なので、おやつとして与えていただく分には問題はありませんが、主食として与えるのはおすすり出来ません。」と答ええています。

なぜ同じご飯を主食として与えることが出来ないのでしょうか？

それは犬と猫、それぞれの食性が大きく関係しているからです。

食性とは、動物が食べる食物の種類のことです。犬は肉食に近い雑食性、猫は肉食性に分類されます。肉食性である猫は、雑食性の犬と比較するとより多くのたんぱく質が必要となります。そのため、ドッグフードを主食として与えてしまうと猫に必要なたんぱく質が不足してしまうのです。

また、犬と猫の栄養面の違いで、よく例にあげられるのはタウリンとビタミンAです。



タウリンとはアミノ酸の1種で、犬は食

材に含まれている他の種類のアミノ酸から、体内でタウリンを作ることができます。また、ビタミンAについてもβカロテンという物質から作ることができます。

しかし猫はどちらの栄養素も体内で作ることが出来ません。

これらの栄養素は猫が健康で元気に暮らすためには必要不可欠ですが、ドッグフードを食べているとこれらの栄養素が不足してしまい、健康な状態を保つことが出来なくなってしまうのです。

このように、食性が違うと栄養面でもさまざまな違いがあります。

犬にはドッグフード、猫にはキャット

フード、それぞれにあったご飯でしっかりと栄養をとって、いつまでも元気に過ごしてもらいたいですね。

今回は「小麦はワンちゃんに必要？」と題してお話させていただきます。

獣医師 岡田愛香



Chap21: 叶ちゃんどうしたの？

高尾さんちの叶ちゃん

房さんは朝から落ち着きません。いつも元気いっぱいにおはようと言わんばかりに足元にまとわりついてくる叶ちゃんがおとなしいのです。朝ごはんは秒で完食？の勢いはないけど…残さず食べてます。

寝たりないのかしら？夜更かし？

季節の変わり目だから？などなど考えてみるも、不安が募るばかりです。

食欲は、ないわけでもないし…排泄はいつも通りだし…。

でもいつもと様子が違う…。

家事をしながら横目で様子をみていました。「あつ、そうだわ」体温計があつたことを思い出し、ドキドキしながら、お尻から測定してみました。

叶ちゃんは「ちよつと何するの？」

と、怪訝そうではありましたが、測らせてくれました。「えつ三八度？」



これは大変と、かかりつけの獣医さんへ電話をしました。房さんは、朝からの様子やお熱のことも伝え、今から行った方がいいですか？と、一気に話しました。獣医さんは「ワンちゃんは、平熱が高いので、三八度は問題ないですよ。叶ちゃん、ご飯も食べて排泄もできているようでしたら、もう少し様子を見て、明日も元気がなかつたら、午前中にいらしてください。万一、容態が急変したら、何時でも時間は気にせず電話してください。」その言葉に安堵する房さんでした。

